

平成26年9月9日

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 平成 26 年 9 月 9 日
開会 17 時 04 分 閉会 17 時 20 分
- 2 場 所 幕別町役場 5 階会議室
- 3 出席者 委員長 牧野茂敏
副委員長 中橋友子
委員 藤原孟 谷口和弥 芳滝仁 田口廣之
前川雅志
議長 古川稔 副議長 千葉幹雄
- 4 欠席者 斉藤喜志雄
- 5 傍聴者 小島智恵 岡本眞利子 野原恵子 岡田正著 小山繁樹
佐藤いづみ(勝毎記者)
- 6 職務のため出席した議会事務局職員
局長 野坂正美 課長 萬谷司 係長 佐々木慎司
- 7 審査事件 (1)付託議案の審査について
陳情第 17 号 町議会議員の定数削減に関する陳情書
(2)その他
- 8 審査内容 別紙のとおり

議会運営委員会委員長 牧野茂敏

(開会 17:04)

- 委員長(牧野茂敏) ただいまより議会運営委員会を開会いたします。諸般の報告をさせます。事務局長。
- 事務局長(野坂正美) 諸般の報告をいたします。本日、斉藤委員から欠席する旨の届け出がありましたので報告いたします。
- 委員長(牧野茂敏) それでは、本委員会に付託された陳情第17号 町議会議員の定数削減に関する陳情書について審査を行いたいと思います。審査に入る前に、先般委員の皆様には参考資料がわたっていると思います。類似団体の議員定数、議会議員定数に関する審議状況等、それと前回の議会運営委員会の会議録が配付されていると思いますがよろしいですか。それを踏まえていただいてみなさまからご意見を頂きたいと思います。どうでしょうか。前川委員。
- 委員(前川雅志) 陳情の中身をよく読ませていただきました。3年前にも同じような趣旨の陳情書が出されて、議運で1年近くかけて議論をさせていただきまして、その改選前から議会のあり方についての検討をずっと進めてきて、その続きを改選直後から議論をしていた途中でしたので、陳情は時間をかけて審査をさせてもらったという経過があったと思います。

そういった中で、議会をどのように変えていくかというところの大きなものとして議会基本条例を制定して、その中には議会報告会など、それと前回求められておりました議員の資質向上、これにむけて研修の機会を増やしていく、そして議員一人一人の資質の向上を図ってまいろうということで、前回は賛成が少数で否決されたというのが経過だったかと思います。

3年前と比較いたしまして人口は平成23年が27,557人、平成26年8月現在が27,648人、そしてここにご心配いただいております普通交付税の額であります。普通交付税と特別交付税を合わせまして地方交付税全体で平成23年は23億2,222万7千円でありまして、平成25年の決算では23億2,708万8千円という推移でありまして、ここにありますように本年度においては普通交付税と特別交付税合わせた額が63億2,000万円という数字になっております。ことしは、ここに書いてありますように平成26年度の普通交付税は、前年度対比で約1億7,000万円減額になることが決まっています。決まると普通交付税が56億8,157万円ということでありまして、ただ普通交付税の平成26年度の予算は57億1,500万円でありますから、約3,000万円足りないという状況が今現在であります。

それと、特別交付税の金額でいきますと、ずっと合併してから5億少しから少しずつ下がって特別交付税が出ているわけではありますが、平成26年度の特別交付税の予算、これからの予測なのですけれども平成25年度の決算額が4億7,514万円ありますから特別交付税のルール上、激減緩和のルールがありますから、減るにしてもそれほど減っては来ないということが予測されますので、4億円以上は間違いなく特別交付税は出てくるのであろうということでありまして、普通交付税で3,000万円足りないことになっておりますが、全体的な予算で幕別町の財政運営に支障をきたすということはない、というのが財政の状況だと思えます。

そういうこともありまして、何を言いたいかといいますと、3年前とそれほど状況が変わっていないと。変わったとすればこの1億7,000万円が急に減ったということ。急に減ったというかこれはもともと特別に付いていただけですから、元に戻っただけの話でありまして、それも減ったと。

それと、近隣町村の議員定数が、ここにも書いてありますとおり定数を削減してきた

というところだけが3年前から変化したと。そういったことを踏まえながら議論する必要があるのかなと思っております。

- 委員長（牧野茂敏） 今、前川委員から、議会改革の中で2年前に結論を出したというお話で、当時と状況が変わったのが、他の町村が議員定数を減らしてきている町村もあるということくらいですね。そういったことも踏まえながら。前川委員。
- 委員（前川雅志） 補足というか、ここに書いてありますけれども、国の地方交付税の先行きは不透明でありますから、この陳情者の思うとおりだと私も思います。この先としては1億7,000万円でしたが、来年はどのくらい減ってくるのかとか、5年後、10年後となると、そういった数字もまだまだ予測も出来ませんので、そういったことを加味しながら審査をする必要があると思います。
- 委員長（牧野茂敏） ただいまのご意見であります。そういったことも踏まえながら審査に入っただけだと思います。中橋委員。
- 委員（中橋友子） ただいま財政のおさえかたというか前川委員の発言がありましたので、私も普通交付税につきましては削減の方向ですので決して楽観できるものではないと思います。

しかし今回の普通交付税の削減の理由の中のひとつに、自分自身は好まないのですけれども、地方消費税の配分が変わったと。地方消費税は引き上げ前までは1%の地方配分だったのですが、それが今度は2%になっていくということで、おそらくその3,000万円の財政補てんもその中から生まれてくるであろうということは、短期で見た場合は予測はつきまして、心配されている、今の現在で見ている財源不足は生じてこないかなというのは私自身もそう思います。

もう一つ、3年前に議論して作り上げた議会基本条例の中に、議員定数はどうあるべきか、ということも1項入れさせていただいた、これも新しい試みであったと思うのですよね。その時には財政ですとかもちろん人口というものも基本にはあるけれども、しかしその町固有の歴史も含めて、あり方であるとか町の課題、うちの町は町村合併したという独自の内容も含まれておりますので、そういうことも十分踏まえたうえ、住民の負託に応える仕事ができる人数というようなことになっておりますので、その辺も前回の議論の過程の中で出されたことではありますが、正式に基本条例が制定されましたので、そのあとに出された今回の陳情書でありますので、そこも加味する必要はないかと思っております。

- 委員長（牧野茂敏） 他にありませんか。当然この議運の中で陳情に対する審査を行うわけなのですが、この議運に出られない他の議員の方々もいますので、その辺のことについては皆さん方で相談されている会派はありますか。これからですか。もし可能であれば、会派の中で、前川委員、中橋委員が言われたことを加味しながら会派の中で協議をしていただいて、改めて議会運営委員会を開催したほうが良いのかなと思うわけですが。
- 委員（前川雅志） 会派の中である程度は打ち合わせをさせていただいたところなのですが、まだ正確にどういうほうが良いというところまで行けていないのが現状です。それと、せつかくの機会ですから、もう一つ。この陳情から行きますと定数を減らして行革に資すれという中身のように感じるのですよね。行革の中では幕別町の財政がどうなっていたかというのは、改選時、平成23年度の公債比率は18.1%くらいでしたか。それが平成25年度の決算では16.1%になったと。それと起債残高も平成23年度の起債残高は182億9,000万円ありまして、平成25年度は168億5,000万円まで好転したと。好転し

たというか減ったということもありますので、そういったことも参考に会派の中で議論していただきたいなと思います。

- 委員長（牧野茂敏） そういったことで、他の会派の方もそれでよろしいでしょうか。会派で話し合っただけで次の議会運営委員会に臨んで頂ければと思いますがよろしいですか。

（よいの声あり）

- 委員長（牧野茂敏） それでは本日はこの程度にして、会派の中で協議をしていただいて次回の日程を決定させていただいてよろしいですか。暫時休憩いたします。

（暫時休憩）

- 委員長（牧野茂敏） 休憩を解いて再開いたします。それでは18日、決算審査特別委員会終了後、改めて議会運営委員会を開催したいと思います。以上で議会運営委員会を終了いたします。

（17：20 閉会）